

未来に悔いない 山づくりをめざして



町内各集落で、山の手入れ（間伐、枝打ち）の講習会が開かれています。町内には「若齢林」が約二千ヘクタールあり、少し手を加えることにより、将来に価値の高い山林を残そうというわけです。

すでに行つた西根田、川井、杉山田地区では、各家々からの参加者が、専門員の指導に耳を傾けていました。参加者は年輩の人たちが目立ちますが、「後継者」となる若い人たちも熱心に参加。十年後、二十年後を考へて、それぞれの山の状態から、手入れの方法が話し合われていました。

町と町森林組合では、年内に全集落でこの講習を行う予定で、多くの参加を呼びかけています。

今月の紙面から

- 2面 生活クラブ生協で当町を訪問
大野台開発実証展示圃
- 3面 マトビ、ふるさと祭り
中学校生徒交流会
- 4面 全県公民館大会のお知らせ

広報

あいかわ

昭和61年（1986年）8月30日 第340号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

'86 / 8

340号

松ヶ丘の運動公園着工

分譲二百四十四区画に申し込み

町で分譲を行っている松ヶ丘団地の一角に、合川町多目的グラウンドの工事が進められています。この工事は企業誘致に伴う工業再配置促進補助事業で着工。完成が待たれています。

松ヶ丘団地は造成した二百九十三区画のうち二百四十四区画が売却済。町営住宅十戸のほか、一般住宅の建築も進んでいます。

購入者の六割は町外の人ということで、恵まれた立地条件が、好調な売れ行きにつながっているものと見られており、多目的グラウンドの完成で、さらに環境整備が進むこととなります。

多目的グラウンドは約一万平方メートル。百メートルトラック、野球場、ソフトボール二面、ゲートボール八面、サッカー場に利用できる設計です。その他、幼児広場、桜並木、赤松並木芝生広場を設置。快適な運動公園として利用されるもので、十一月の完成を目前に工事が行われています。



新しい「街」づくりの一角にグラウンド工事が急ピッチ。

町内には昨年、大野台ハイランドに勤労者福祉センターが完成。町民体育館など施設の充実が進み、利用者でにぎわっています。

工業再配置促進補助金は、国（通産省）が企業誘致町村に交付。今回は工事費五千四百三十万円のうち四千万円が交付され、来年度以降も交付される予定です。また同制度による企業補助金では、社員寮の建設（松ヶ丘・工業団地内）除雪機の購入が計画されています。

雪田地区に簡易水道

雪田地区二十三戸の簡易水道工事が進められています。雪田地区簡易水道は才三期山村振興事業で建設。雪田沢の自然わき水を利用して約五千メートルの導水管を布設します。当町の簡易水道布設率は、雪田簡易水道ができると約九二・五％になります。

わたしたちの町

人口(男).....4,486人
人口(女).....4,809人
計.....9,295人
7月中の転入.....24人
7月中の転出.....17人
世帯数.....2,305世帯

(7月末日住民登録人口調べ)

町長日記から

大野台開発の先駆者 金為助先生の遺歌集「栓の木岱」(せんのみきだい)が発刊され、遺族の金耕一氏から届けられた。金為助先生は立憲養正会の重鎮。金作之助先生の弟であり、兄弟そろって俊才といわれた人である。秋田師範学校を中退されたあと、産業組合運動に入り、昭和六年から県議に当選され、その後、旧米内沢町長、森吉町長を歴任され、又、合川町弥栄に自ら開拓者の一員として子息二人と入植される等、開拓魂に徹した人であった。老後は、高齢者マラソンに参加されるなど、在りし日の大野台を走る先生の姿は、今なお人々の目に浮かぶ。

栓の木岱は、金先生の入植地の後方に大きな栓の木があったようで、大野台が地元の採草地だった頃は、この木が目印になっていたものようである。

遺族の金耕一氏は亡父の記念に何かしてやりたいが、何も私にできるものがないので土地五十アール程、寄付したいと思うが、何に活用されたら良いかと問われたので、今は大野台のどこでも公園のようなものであるが、将来のことを考えると「金為助先生記念公園」はどうだろうか、そこに頌徳碑でも建立して、次の世代の人々に愛される土地になったら、供養になるのではないかな、と寸感を申し上げた。

(義)

さわやかな町―接点を求めたい

と生協側

生活クラブ生協から来町

四月に発足した合川町農産物流通対策委員会では、首都圏を中心に十四万人の会員をかかえる「生活クラブ生協」との交流を図ってきましたが、七月十六日から、代表十六名が来町されました。一行は町内の施設や田畑を視察。これからの交流の方向を探る話し合いを行いました。

生活クラブ生協は年間取扱高が、四百億円を超える大規模生協。添加物の排除など消費文化のあり方を考え、その考え方にそって生産者と提携して市場を保証するシステムを基本としています。

生活クラブ生協側の意向と生産者の交流の中から、価格補償のある契約生産によって、流通経費の少ない「安定農業」をめざそうという今回の交流

。流通対策委員会では「若手生産者と女性代表を加えて早急に生活クラブ生協と訪問



し交流したい。」と要望しています。

農業のあり方に強い関心

強い関心

一行は県立富農高等学校、カントリーエレベーターなど農業施設を訪ね係員からの説明を受けるとともに、熱心に質問。合川一号を栽培している田んぼ、山ごぼう、夏秋キュウリ、アムスメロンの畑などをまわりました。

それぞれの場所で、土をつかみ、生産行程を確かめ鋭い質問。案内にあたった町と農協の職員から「専門的な知識が豊富で、農家以上に農業に関心が高い」と感想がきかれました。

生活クラブ生協では、福祉施設の経営にもたずさわっており「大野台の里」を訪問。「福祉の町」の中の各施設の様子に高い関心を見せていました。

上川合川一ノ・あきたこまち・モチ米などに高い関心。右下二ニク畑に入って栽培状況を細かく観察。

二年目大野台実証畑

「輪作二体系でメド」

県立富農高等学校内に昨年から設置されている「大野台実証展示圃」では、大野台農用地開発で想定される作目の栽培展示が行われています。営農規模などによって「集約型」と「粗放型」の二つの輪作体系を設定。きゅうり、ニンジン、やまごぼう、アス

今年までの成果については「大野台農用地開発にむけて栽培技術の上でのメドはついた」として、全町的な指標になるものと期待されています。展示圃では、現在、きゅうりの収穫・出荷に大忙し。大野台農用地開発を通じて町の人たちとの交流を深めています。



「具体的な提携で協議を」と小塚団長

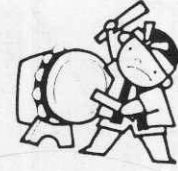
全体会議では、はじめに町の農業の概況を説明。生活クラブ生協側から質問や意見が出されました。

「合川町の住民参加の町づくりと生活クラブ生協の「協同」という基本的な考え方は同じ」「キュウリの規格の関係で、生産の苦勞を聞き、消費者のあり方を考えさせられた。」

「さわやかな広々とした町づくりに対する住民の情熱が感じられた。この交流会を機会に何か接点を求めたい。」

「女性や若い人たちがたくさん交流に参加してほしい。」「町の皆さんが生活クラブ生協に何を望むかききたい。」「技術や熱意は、相当、高い水準だと感じた。」「生活クラブ生協の子どもと合川町との交流も考えられる。」「視察した作物や施設などについて感想や町づくりへの提言などに、活発な話し合い。一行の小塚尚男団長が「町側の関係者が提携可能な内容を提起してほしい。三年先、五年先への構想も示してもらいたい」と交流と提携をすすめた。とまとめ、お互いに一層の交流の拡大を約束しました。

できごといろいろ



三浦新吉さん

全国建具展で優秀賞

札幌市で開かれた才二十回全国建具展示会で三浦新吉さん(三木田)の作品が読売新聞支社長賞に選ばれました。

三浦さんの作品は障子をガラスではさんだ「ガラス障子」。美しさと機能性を工夫した作品で、県大会で入賞して、全国大会に出品されて栄誉ある受賞に輝きました。

三浦さんは「町の産業文化祭に、同じようなものを展示したい」と、現在、製作の準備にかかっています。

全国展会場で入賞作品と三浦さん。

川東は決勝で米内沢に快勝し優勝しました。

町内少年球技大会

野球 優勝 木戸石(三年連続) ② 駅前A ③ 駅前B 下杉 バレーボール 優勝 李岱(二年連続) ② 羽根山羽立 ③ 木戸石 下杉

農業士に

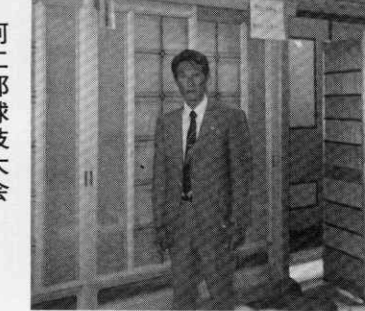
中島萬平さん

県の「農業士」に中島萬平(かずひら)さん。弥栄27才が選ばれました。中島さんは酪農家の後継者として、地域農業青年のリーダーとしての活動が認められたものです。

西小学校児童が

営農大体験入学

合川西小学校では八月四日から県立富農高等学校で「自然教室」を開きました。二泊三日の日程で五、六年生四十八人が全員参加。農業学習、自然観察、天体観測など、ビッシリと計画が組まれました。あいにくの雨天で、日程の一部を変更したものの、日頃ふれ合うことの少ない農作業や、炊事などを体験。親もとを離れた団体生活を終えました。



阿仁部球技大会

バスケット

東小学校が優勝

七月二十六、二十七日に森吉町で開かれた阿仁部小学校球技大会ミニバスケットで、合川東小学校が優勝しました。大会には十チームが参加。合

フェンシング

安部欣哉君全国優勝

山田誠君二位

八月六日、広島県で開かれた全国高校総合体育大会フェンシング・フルールで安部欣哉君(増沢・父寿勝さん)が優勝。山田誠君(金沢・父一

自然の中で

生き生きと

少年キャンプ

合川町親の会連絡協議会の「大野台少年キャンプ」が、八月七、八日に行われました。小学校四年生から六年生まで三十一人が参加。楽しい「テント村」が開かれました。

オ一日目はテント張り夕食のカレーライスづくりに挑戦。夕食後は、キャンプファイヤーを囲んでフォークダンスとゲームなどで大歓声。二日目は、「追跡ハイキングゲーム」でハイランド一帯を歩き、豊かな自然の中で、ふれ合いを深めていました。

一人で行かないで!!

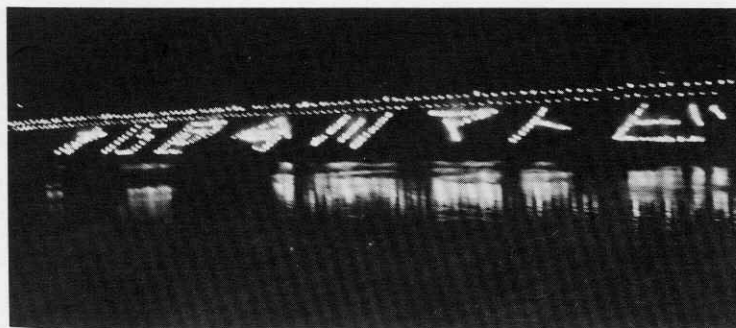
- アブナイと思ったらみんなで注意。
- 水の事故に注意しましょう。



カメラスケッチ

美しく夏の一夜を

合川マトビ・ふるさと祭り



阿仁川の川面に映えて、美しくゆらめきをみせた「合川マトビ」



ふるさと祭り会場での、町内各寺院のお祈りの火を、分けて、合川中学校生徒が点火。(車マトビ)

今年も阿仁川ぞいに「合川マトビ」が灯りました。合川中学生を中心に、お盆行事となつて十五回目。昨年からの「通りおどり」には中学校女子生徒が、ほぼ全員参加。マトビ・ふるさと祭りは、お盆の帰省客の皆さんの参加も増え、例年以上の盛り上がりになりました。

婦人会の皆さんの列に加わつて、子どもたちの姿が目だつた「通り踊り」



はつらつとしたバチさばきが感動的な「上杉子供太鼓」

町の歴史を思わせる「福田獅子踊り」。汗にまみれての熱演に、大きな声援。



鷹巣阿仁部地域生研中学校生徒交流会が七月二十八日、大野台ハイランドハウスで開かれました。交流会には地域の中学生代表二十八名が参加。中学生の地域活動などについて話し合いました。

始めに大野台

エコーハイツ(軽費老人ホーム)の入居者を招いて懇談会。お年寄りの代表から、身なり、服装、言葉づかいなどについて中学生に厳しい注文。親子

中学生のお年寄りの話し合い

「みんなのことがとても心配です。」「気持ちが悪くわかりました。」

地域生研中学生交流会

の皆さんが、自分たちの事を真剣に心配してくれているのがよくわかった。」と感想。「親を尊敬していますか。」との質問に、中学生からの返事がな

のありかたや人間関係のあり方などについて、「現代っ子」に要望が続ききました。中学生側からは「お年寄り

く、会話がとぎれる場面も見られました。続いて、各中学校の活動などを発表し合つて意見交流会。

各校の生徒とも同じような問題をかかえている現状が発表されました。中でも勉強、クラブ

活動、社会参加の活動など忙しい中学生の生活ぶりは、各校共通の悩み。活動の事例などを話し合いながら、「社会参加をすすめるよう」と話し合



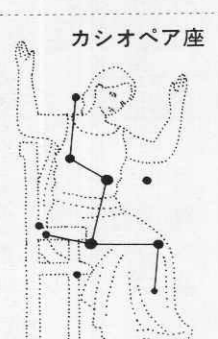
「地域参加」の一環としてお年寄りの皆さんと交流

がんばっています ヤンク No. 4



杉山田 伊藤千春さん 23才 (善十郎さん長女) (家族 祖母・父・母)

仕事は 町診療所の薬局のほうで、お世話になってます。いつも緊張して仕事をしていますが、このころ患者さんの顔を覚えてきて、体が良くなつていようだと楽しい気持ちになります。菓の在庫の管理のほうもつけ持っています。手芸。クッションをつくつたり、いろいろつくるのが好きです。冬はスキー。でも楽しむ程度しか、すべれません。ピアノは小さい時から習いましたが、これもじょうずにありません。あと、青年会の行事にも参加したり。近くにもいいから、ゆつくり旅行がしたいと思ひます。夢は 一言でもすなおで、笑顔が絶えません。窓口でふれ合いがとて良、さわやかです。



季節の星座 九月には、午後八時ごろ北東の空に見えます。

このコーナーでは私たちの暮らしを県内市町村と比べ統計数字で探ってみます。

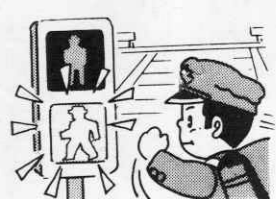
10アール当り水稲収穫量
①比内町 680kg
②大雄村 675
③雄物川町 662
④十文字町 656
⑤鷹巣町 650
⑬合川町 640

県平均 613
記録的な豊作と言われたこの年、当町は県内69市町村のうちでも上位の収穫量となっています。別名反当収量(10a=1反)と呼ばれますが、ここで用いられた数値は標本実測調査、作況試験成績結果などから推計して発表されています。

県内三三三三統計

わたしのまち ⑤

クイズ4



いいのかな? わるいのかな? 交通安全

ほこうしゃようの あおしんごうがついたり きえたりしているとき、いそいでわたろうとしている (よい、わるい)

解説 青信号の点滅は、信号がもうすぐ赤信号に変わるという合図です。あわてて渡ろうとすると、途中でころんだり、赤信号になってしまうかもしれません。青信号が点滅になったときは、次の青信号になるまで待ってから渡るように教えましょう。また青信号になったからといって、すぐに飛び出さないでください。交差点は右や左に曲がる車があり、横断歩道を横切るかもしれない。必ず車が完全に止まったのを確かめ、運転手さんの目を見て渡るように教えましょう。

さわやか君

西村 宗



27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 9

おやすみ前
火の用心を
しっかりと

健康まつり
さわやか体育デー
敬老会
美栄入植五十周年式典

情報
50歳ばん
○広報はとじて保存
しましよ
○こよみにあなたの
予定をメモして

国民年金
仕事が変わったら
届出を

四月からスタートした新しい国民年金制度、全国民が二十才から六十才になるまで、必ず加入することになりました。
ところで、農業など自営業の人と、会社に勤めている人は保険料の納付方法などが違います。就職した、職業が変わった、退職した、結婚したなどの時には、必ず「年金」の手続きも行ってください。特に、出稼に行かれる人は行くとき、帰った時に必ず手続きしましょう。
年金の手続き、相談については、役場福祉課でどうぞ。
八月三十日から
建築物防災週間

毎週水曜日は
体育館で、スポーツ教室
午前9時～11時30分
誘い合ってご参加ください

今月の納期
固定資産税

司法書士電話相談
毎週土曜日午後一時～四時
まで、秋田県司法書士会の電話無料法律相談が開かれています。相談番号は〇一八八一―二四一〇一八七です。

善意のご寄付

敬称略

- ▷香典返しにかえて▷
和田三九郎 上杉 (故義弟 後藤光芳 下杉)
高谷 忠義 芹 沢 (故父 和助)
近藤 鉄治 桃 栄 (故母 トメ)
杉 正国 木戸石 (故父 新一郎)
七尾 四郎 駅 前 (故母 クノ)
成田清二郎 李 岱 (故母 タネ)
- ▷広報郵送料として▷
金田 重裕 千葉県我孫子市つくし野 717-58
成田 久満 秋田市横森4-11-31
成田 織治 秋田市広面字大巻25-2
太田 トミ 都内多摩郡羽村町富士見平 2-13 羽村団地21-408
- ▷物品寄贈▷
佐藤 吉治 木戸石 特殊寝台ベット 1台

慶弔だより

7月届

- ▷お誕生おめでとうございます
萩 原 恵 増 沢 正仁 長女
松 橋 新 駅 前 春美 二男
木 村 愛 美 八幡岳 浩則 長女
正 田 麻奈美 上 杉 昇 二女
齋 藤 弘 俊 駅 前 弘美 長男
- ▷謹んでおやみ申し上げます
近 藤 トメ 桃 栄 鉄治 母

たばこは
町内で買ひましよう

町の辞令
〔退職〕 七月三十一日
木村和子(保健センター
参事兼診療所
看護婦)



話し合い ▷公民館の予算と事業 ▷公民館の運営 ▷青少年教育 ▷家庭・婦人教育 ▷男子成人教育 ▷高齢者教育 ▷生活合理化運動の七分科会。全体討議は「生涯学習社会」に対応する公民館活動」をテーマに、各町村代表の発言や、自由な発言が行われます。
アトラクション・講演など日程の一部に参加することもできますので、お気軽にどうぞ。



山田 太一氏

みんなで
ご参加を
全県公民館大会が
当町で

シナリオなどでおなじみ。世代を超えて人気を呼んだ数々の作品は、私たちの生き方に多くの指標を与えてくれました。「仕事を通して見た現代」と題して講演します。

協力ください
消防防災訓練
9月1日
鷹巣阿仁部の消防防災訓練が九月一日午後二時から、当町駅前地区一帯で行われます。当日は交通規制などがありますので協力ください。約三百人の消防団員が参加して十七カ所で放水を予定しています。

名 月 63
〇月に見る月は多けれど、月見る月はこの月の月」といふ歌があります。月はずばり、中秋の明月に限ると言う歌です。
月の中にウサギがいるという話は、日本ばかりではなく中国、インドなどのほか、メキシコインディアンにも伝わっている話だそうです。古くから月にロマンを感じてきたのは、日本人ばかりではないということでしょう。
秋の実りを供えて願ひ事をする中秋の名月ですが、町内の田んぼでは、予想以上に「不稔」の稲が目立つと聞きます。たれ下がる黄金色の稲穂の中で、名月を迎えたいものだと祈りたい気持ちです。